大脱走２（1988）

THE GREAT ESCAPE II: THE UNTOLD STORY

メディア TVM
ジャンル ドラマ　戦争
製作国　アメリカ
時間　186分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

第二次世界大戦中のドイツで実際に決行された脱走作戦をオール・スター・キャストで描いた名作「大脱走」。しかしそこでは描かれていなかった、他の脱走に成功した者にスポットを当て、その後日談にまでストーリーを膨らませて製作されたなかなか面白いスピン･オフ作品。

ドッジ少佐（リーブ）とマイク（ハーシュ）はルフト第三捕虜収容所での脱走作戦で命からがら脱獄できたもののドイツ軍の追手に捕らえられ、石の要塞のようなハルトハイム刑務所に収監されてしまう。そこには同じく脱走に失敗した仲間たちが収容されていたが、あの脱走事件を重く見たドイツ司令部はその厄介な捕虜たちをゲシュタポの手を使って抹殺しようと命令を下す。次第に仲間たちが殺されていく中、それを知ったドッチたちはまたもや脱獄を図り、それぞれに国境超えにも成功。そして終戦。しかしジュネーブ協定違反を犯したゲシュタポどもを許せない彼らは捕虜抹殺を指揮したヴィーレン長官（プレザンス）以下の逃亡者たちを軍法会議に掛けて罪を償わせようと、そこから必死の捜査を開始するのだった。

ただ単に「大脱走」の続編を作ろうと考えればマックィーンたちが新たなる作戦を敢行するという話に落ち着いてしまいそうだが、そこを別の人間たちのエピソードによって路線変更させ、それでいて元となる作品にリンクさせた“ひねり”の効いたストーリーがまず面白い。そして後編の捜査劇のスケールの大きさと演出の良さに加え、前作にも出ていたＤ・プレザンスを今度は敵役で出演させるという心憎い演出もあって、あの名作には及ばないもののＴＶムービーとしてはかなり上出来な作品となっている。

【クレジット】

監督	ポール・ウェンドコス	Paul Wendkos
	ジャド・テイラー	Jud Taylor
製作	ジャド・テイラー	Jud Taylor
製作総指揮	マイケル・ジャッフェ	Michael Jaffe
脚本	ウォルター・ハルジー・デイヴィス	Walter Halsey Davis
撮影	ディートリッヒ・ローマン	Dietrich Lohmann
音楽	ジョニー・マンデル	Johnny Mandel
出演	クリストファー・リーヴ	Christopher Reeve
	ジャド・ハーシュ	Judd Hirsch
	アンソニー・デニソン	Anthony Denison
	チャールズ・ヘイド	Charles Haid
	マイケル・ネイダー	Michael Nader
	イアン・マクシェーン	Ian McShane
	ミジョウ・コヴァス	
	デレク・デ・リント	Derek De Lint
	ドナルド・プレザンス	Donald Pleasence

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.